

令和2年度 第1回 安曇野市総合教育会議 会議録

日 時 令和2年5月13日（水）午後1時30から

場 所 安曇野市役所3階 会議室301

○出席者

| | | | |
|----------|--------|------|--------|
| 市 長 | 宮澤 宗弘 | 教育長 | 橋渡 勝也 |
| 教育長職務代理者 | 唐木 博夫 | 教育委員 | 須澤 真広 |
| 教育委員 | 横内 理恵子 | 教育委員 | 二村 美智子 |

○補助のため出席する者

| | | | |
|----------------|-------|--------|-------|
| 教育部長 | 平林 洋一 | 学校教育課長 | 沖 雅彦 |
| 生涯学習課長 | 臼井 隆昭 | 文化課長 | 山下 泰永 |
| 秘書広報課長 | 渡辺 守 | | |
| 学校教育課学校給食センター長 | | 小笠原 正明 | |
| 学校教育課教育指導室長 | | 赤羽 文恵 | |

○事務局出席者

| | |
|------------------|-------|
| 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 | 太田 雅史 |
| 学校教育課教育総務係 | 岩原 遼子 |

○傍聴者

| | | | |
|------|----|-----|----|
| 報道機関 | 6名 | 傍聴人 | 1名 |
|------|----|-----|----|

◎開 会

教育部長 それでは、総合教育会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日の総合教育会議は公開として行われますので、よろしく願いいたします。

◎市長挨拶

教育部長 それでは、宮澤市長からご挨拶をお願いいたします。

市長 どうも、皆さん、こんにちは。

教育委員の先生方には、日頃安曇野教育のためにご尽力をいただきまして、改めて感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

コロナウイルス蔓延によって、いつ終息するか分からないような状況の中で、学校の休業を余儀なくされてきたところでございますが、一昨日から半日ずつクラス分けをして授業の再開ということになりました。午前中校長会がございまして、その後私も校長先生方と懇談会の場を開かせていただいたところでございますが、それぞれ学校においては子どもたちの教育第一というようなことで、休みの期間中先生方もいろいろ工夫をされたというふうにお聞きをいたしておりますし、午前中の校長会では正常な教育に戻るための授業が再開されたということでございます。

着座にて、説明をさせていただきたいと思えます。

2月28日に総合教育会議を開かせていただいて、国があまりにも突然ではございましたけれども、小中学校の臨時休校の要請がございました。これを受けて、安曇野市では協議をさせていただいて3月5日から臨時休校を決定をいただいたところでございます。

その後も、先ほど話をさせていただきましたように新型コロナウイルス、これは世界規模で猛威を振るっている状況でございまして、本市の小中学校も入学式と始業式、4月6日にあったわけでございますけれども、5月20日までの休業を継続しているという状況にございます。5月11日から、先ほど申し上げました分散登校を開始をしたところでございますが、子どもたちの心身の健康、あるいは学習の進み具合が心配をされるところであります。

先ほど、話にもございましたように学校運営について、校長先生方から意見交換の場を持っていただいたり、新型コロナウイルス感染拡大の防止に対応したやり方について議論をいただいたということでございます。

これらの内容を含めて本日の会議では、21日以降の学校再開に向けて、どのような対応をしていけばよいのか協議をさせていただきたいと存じますので、それぞれ教育委員の皆様方の率直なご意見、ご提言をいただくことをお願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育部長 ありがとうございました。

◎教育長挨拶

教育部長 続きまして、教育委員会を代表し、橋渡教育長からご挨拶をお願いいたします。

教育長 本年度第1回の総合教育会議の開会に当たり、安曇野市教育委員会を代表してご挨拶申し上げます。

宮澤市長におかれましては、学校再開に向けた今後の対応についてを議題に本日の総合教育会議を開催していただき、誠にありがとうございます。

さて、安曇野市では今週11日から分散登校を開始しております。小中学校の児童生徒は入学式、始業式を終えて、すぐこの長い臨時休業に入ったわけでございまして、まだ担任の先生や友達の顔も名前もしっかりと覚えないうちに学校に行けない状況が長く続いていて、本当に久しぶりの登校ということになります。

それに当たりまして、私どもは子どもたちの学校への行き帰りがまだまだ慣れていない状況であること、また市民の皆様はじめ、通行される皆様も子どもがふだん歩いているということが日常にない状況であったために、交通事故に遭うとか交通事故の加害者になってしまうという悲しいことが絶対起きてはならないということで、既に連休中に11日の登校に向けて保護者の皆様方には子どもたちの交通安全について、改めて十分に注意を払っていただきたい。また、登録されている方々に対してでございますけれども、住民の皆様方に対してメールを使いまして、子どもたちがいよいよ11日から登校を始めるので、是非ご自分の運転に十分注意していただきたいというお願ひも発信したところでございます。

このところ、熱中症にも気をつけなければいけないというようなことで、なかなか状況は難しいことが続いているわけですがけれども、少しでも早く学校生活に慣れ、そして本格的な登校再開に向けて、体や心や頭を慣らして行ってほしいと願っております。

そんなことを願ひながら、今後の対応について今日はご協議のほどよろしくお願ひいたします。

教育部長 ありがとうございます。

◎議事 (1) 学校再開に向けた今後の対応について

教育部長 それでは、次第、4の議事に入らせていただきます。

議事につきましては、この会議の主催者であります宮澤市長により進行をお願いいたします。

市長 それでは、しばらくの間、議事進行を務めさせていただきますので、皆様方のご協力をお願いを申し上げます。

まず、議題でございます(1)の学校再開に向けた今後の対応について、事務局から説明をお願いします。

教育部長 それでは、資料に基づき説明をさせていただきます。

担当から説明をさせます。

学校教育課長 「学校再開に向けた今後の対応について」資料により説明。

市長 ただいま事務局の説明が終わりましたが、それぞれ委員の皆様方から率直なご意見、忌憚ないご意見をお聞かせをいただければと思います。

いずれにしても一日も早く休業を解除をして、正常な授業に戻れることが望ましいわけですが、ご意見をお伺いをいたしたいと思います。

唐木委員 お願いいたします。

質問をさせていただきたいと思うんですが、今日午前中のところで校長会があり、さらに校長との懇談もあったということでもありますけれども、一番の現場を預かっている校長先生方が今現在一番危惧されていること、心配なさっていることというのはどのようなことがあったか、様子を教えていただければと思います。

市長 校長会の意見等について、いろいろな意見があったわけですが、お願いします。

学校教育課教育指導室長 座って失礼させていただきます。

ただいまの質問なんですけれども、分散登校が始まりまして、いよいよ子どもたちと会うというような環境になってまいりました。それで、やはり校長先生方のお話としましては子どもと会ったときに個々の家庭での生活の違い、そういうところが非常に心配される場所が一つありました。学習面でもありますし、それから健康面のこと、中にはあくまで見かけなんだけれども、体の面で前よりも痩せちゃったかなというふうに関心されたり、逆に運動

がどうかかなというようなことを心配するという、そんなことも聞かれております。そういった心身の面での子どもたちの差異というかギャップがございました。

ですので、こういった形で学校、面と向かってできるような状況をつくっていく中で、感染防止というところも最大限配慮しながら、通常の学校生活に戻していくというところが今後大事になってくる、そんなふうを受け止めております。

以上でございます。

唐木委員 では、続けてお願いいたします。

説明ありがとうございました。

学校の休業を決めるに際して、私たちこの総合教育会議のときもそうでしたけれども、児童生徒の命を守っていくということ、それから学力を休業になってもできるだけ保障する機会をつくっていく、そして心身の安定を図っていくということを目標に進めてきたわけなんです。今状況はまだコロナウイルスによる影響が完全に鎮静化したという状況ではないわけでありまして。これから方針を決定するわけですが、その中で学力の保障、それから児童生徒の心身の安定、特に配慮を要する児童生徒とか新1年生に対していえば、これで2か月近く家庭にいて、学校生活が一昨日または昨日始まったという子もいるかと思えます。そういう子への配慮を十分にしていけるような体制をつくるべきかなというふうに、今事務局からの提案をされていて改めて思った次第でありますので、それを踏まえて今日決定されていけばいいなというふうに思います。それで、今の段階では可能という気がいたします。

市長 校長先生方との懇談の中では、やはり心配されているのはカリキュラムが大分遅れている、2か月近くでありますので子どもたちの学習の遅れをどう取り戻すかということと一方では感染しないようにコロナウイルスにかからないような体制づくり、非常にジレンマがあるんじゃないかなということを感じました。

ただ、この休業期間中に今まで授業だけでなく、学校の対応を見てくださいというか、先生たちも目の届かないところまで教育環境の整備等に努めていただいたということで、総じて前向きに取り組んでいただいているということを感じました。

ただ、市町村教育委員会独自でこれからの方針を定めていくということですが、例えば話の中で出たのが夏休みをどのようにしていくのか、土曜日は授業というようなことについては考えられないということで、限られた休みの有効活用ということ、これはもちろん校長先生の指導力が大変影響すると思えますが、先生方のご協力をいただきながら決めたいと思います。

それから、保護者の中には一部人との接触を拒むというか、そういう空気が強かったということですが、長い休みの中でやはり学校教育の重要性というものを再認識をしていただけたんじゃないかというような意見もいただいたところでございます。いずれにしても、絶対安全だという方策が今のところ見当たらないわけでございますし、有効なワクチンが開発されない限り、ある面ではまた発症の危険性も伴っていく、予測がつかないような状況の中で、模索をしながら一日も早い平常な授業が行えるような体制をつくっていくというのが非常に大切だというふうに感じました。また、保護者の皆様方も自分のお子さんだという意識をもう少し持っていただいて、全ての責任が学校、あるいは教育委員会、あるいは行政ということではなくして、やはり自らの子どもたちの行くべき姿というか、親としての責任、自覚もはっきりしていただければなという思いで、私のほうからも発言をさせていただいたとこんな状況でございます。

他の委員、ご意見ございますか。

須澤委員 課長がご発表になった内容が結構じゃないかと思いました。

質問でございます。今日、午前中学校長との懇談もあったということですので、そういうのも加味しまして事務局としてつかんでいる範囲で結構なんですけど、1点はよくテレビなんかでネットを通じて各種の配信が学校からなされているといったのも目にしました。これについては、安曇野市の学校では何か工夫なされたかなというのが1点でございます。

2点目は、特別支援学級の皆さんとか通常時に不登校気味であった皆さん、そういう皆さんに対しては分散登校に至るまでを含めてのご対応も大変だったと思うんですが、もし何かあればそのことも併せてご質問申し上げます。

学校教育課教育指導室長 ご質問のほうにお答えしてまいります。

まず、1点目ですが、インターネット等を通じた学習内容の配信というようなことでございます。本市全体として統一してできているということは、今現在のところございません。ですが、中には独自に学習の内容を映像にまとめて配信をしている学校はあるというふうにつかんでおります。例えば、英語なんかですと音声や映像というのが必要だということで、そうしたものを短時間のものにまとめまして、それが学校独自のパスワードをかけて配信して見られるというような状況、それがその他国語や社会や理科というようないろんな教科に波及をしていったという、そういう報告を受けております。

また、この機会に教職員の研修等にも取り組んで、そういったインターネットでの学習というようなことをどういうふうにしていったらいいかというようなことについて、検証を深

めている学校もあるというふうに聞いております。

なお、教育委員会としましては実際にこれから第2波、第3波ということも十分考えられますので、まずそれぞれのところで動画を使った、そういった学習を受ける環境があるかどうかというようなことも含めまして、ご家庭のインターネット環境等について、個人情報にも十分配慮しながらということは当然でございますが、アンケート等を取っていく、そんなことも考えております。

2点目、お願いいたします。

特別に配慮を要する児童生徒への対応に関わってのご質問でございます。それにつきましては、これも学校間様々な取組があるものですから、例として紹介をさせていただきます。例えば、ある学校では休業中の機会に一人一人の状況について、今後登校したときどのような支援をしていったらいいかということを中心に綿密に先生方で、支援会議という言葉を使いますけれども、そういったことを含めて検討している、そんなこともあります。

また、個々対応で家庭訪問の回数を多くしたりですとかまたは個別に声がけをして顔合わせをする機会を設けるというような形で、その子に合った、またその保護者、ご家庭に合った状況を踏まえまして、対応をしたり支援をしているという、そういうことを聞いております。

以上でございます。

須澤委員 ありがとうございます。

市長 他の委員、何かございますか。

二村委員 お願いします。

感染リスクを回避しながら地域の実情に合わせて、段階的な学校再開に踏み出せたことにほっとしております。保護者であったり、また含めた家族の方々は家が学校になっているとか、家庭が学校の役割を担っているという認識を持って、過ごしてこられたと思います。各家庭でルールをつくったり、掃除等児童生徒ができること、そういうものを計画をしたり、またできないこと、料理等にも挑戦をするということをしている家庭もありました。毎日緊張感をもって生活をしていたことは確かなところだと思います。また、子どもたちもたくましくなったのではないかなと感じております。

学校のほうでは、感染拡大のリスクを最大限に考えて、再開に取り組むということが大きな仕事になるかと思います。子どもの命を守り、安心・安全な居場所づくりに心がけてほしいということです。先ほどから出ている学力の保障ということですが、環境を整える際に詰

め込み教育にならない配慮をお願いしたいなと思います。

一つ質問ですけれども、これから先のことにはなりますが、土曜日の登校であったりとかまた夏休みが短くなったりとか、そういう予定なり考えは何か出てきていますでしょうか。

市長 それについて、事務局のほう、教育部長のほうからはありますか。

いずれにしても何らかの対応はしていかなければいけないという、意思統一的なものではできているけれども、具体的にさあどうだという方針まではまだ出ていません。ただ、土曜日、出勤するというのは困難じゃないかというような意見は出ていました。

校長会、あえて私開かせていただいたのは、非公開ではございましたが、現場の対応の仕方なり、現場の学校の最高責任者である校長先生方の率直な意見を聞きたいという思いで開かせていただいたんです。1時間半程度の時間でしたので、十分な意見交換できなかった面もあろうかと思いますが、それぞれ校長先生方中心になって子どもたちの思いをしっかりと受け止めながら保護者との連携、PTAとの連携等もある面では深まったのではないかと、生活様式の見直しをする一つのきっかけになったんじゃないかという思いはしております。

教育部長 二村委員のご質問にお答えをさせていただきたいと思います。

小中学校とも正確ではございませんが、授業時数が百数十時間以上足りないということは事実でございます。

今後、どうしていくかという点におきまして、まさしくこの会議での方向性が夏休みの短縮をどの程度必要とするかという数字的なものにつながっていくというふうに考えております。今日、方向性が出ましたら各小中学校長とも協議をして、それぞれの学校においてどの程度の遅れがあるのか、遅れを取り戻すためには夏休みを何日程度費やせばいいのかということについて、至急議論、協議を進めてまいりたいというふうに考えています。

以上でございます。

市長 もう働き方改革が言われている時代でありますので、教職員の皆さんとの調整というか意見交換というか、お互いに協力してもらおう体制づくりというのがこれから求められると思います。

他に何かございますか。よろしいですか。

(発言する声なし)

市長 それと、今後の登校の再開に向けての日程、事務局案どおりに進めさせていただくということよろしいですか。

(「はい」の声あり)

市長 私としては、個人的には一日も早く休業解除になればいいなという思いはございますが、子どもたちが長く休んでいたために学校現場にある程度慣らしていかなければいけない。特に、小学校1年生の場合は入学式をやったままで、クラスメートもまだ顔も覚えていない、ひょっとしたら担任の先生の顔が忘れちゃうというような状況があらうかと思っておりますので、まず慣らし運転からという配慮の中で若干先延ばしといたしますか、21日からということで校長先生方にはご理解をいただいたというような報告を受けております。

ここで、一応総合教育会議としての方向を決めていただくということでございますので、教育委員会としての方針をしっかりと決めていただければというように思います。

ただ、他に何かご意見等ございましたらご発言をお願いをしたいと思います。

もっと休みを延ばしたほうがいいんじゃないかとか、あるいはもっと早く進めるべきじゃないかとか、具体的な提案をいただければここで決めていきたいなというふうに思っています。

事務局としても、ここで方針をしっかりとしたものを出すということですか。

学校教育課長 この会議でご決定いただければ、何より保護者のほうに今日の概要をお伝えする必要があるというように認識しております。

市長 それでは、事務局の提案のとおりこのからの学校授業再開に向けての案をご承認をいただけますか。

(「はい」の声あり)

市長 ありがとうございます。

それでは、事務局案に沿って、それぞれ保護者の皆さんにもお伝えをするということになるわけです。そんな準備をしていただきたいと思います。

◎議事 (2) その他

市長 続きまして、その他でございますが、この際事務局からあるいは教育委員の方から何かございましたらお願いをいたします。

学校教育課長 事務局からは、特段ございません。

市長 教育委員の皆様方は、何かございますか。

唐木委員 お願いいたします。

今、これで再開をしていくということが決定されたわけでありまして。それを踏まえてとい

うことなんです、また是非学校で校長先生方がそれぞれリーダーシップとカリキュラムマネジメントを生かしていけるように是非事務局、教育委員会としてもまた今日総合教育会議でありますので、市長部局のほうも含めて是非強力にご支援をしていただけたらなということをご改めをお願いをしたいなというふうに思います。

それで、具体的なことになるわけなんです、教育委員会から学校へのご支援といたしまして児童生徒ですが、3月、4月、5月、その間の多分児童の生活実態とか特に配慮を要する児童生徒たちの様子を把握して、それを通常の新年度の出発とは異なっておりますので、そのところを丁寧に進めていただけるように支援をしていただけたらなというふうに思います。

それからもう1点は、今回のこのコロナ禍に関わって世間の中でやっぱり差別とか偏見とか、それからデマが流れて、そしてそれによって市民生活が影響を受けたというふうな、そういうことというのはやっぱりこういう時期であるからこそ、人権教育の一環であったり、仲間を大切にする、命を大切にするというところから、一つの教材として各学校で発達段階に応じて是非扱ってもらいたいなという気がいたしております。

特に、偏見だったり、それから医療関係者に対する差別というような考えられないことが起こっているということは、今の時期の児童生徒であるからこそある意味では学べるものであるのかなという気もいたしますので、それについても是非指導なり支援等していただけたらいいなというふうに思います。

以上です。よろしく申し上げます。

市長 大切な視点だというふうに思っておりますし、市といたしましても過日臨時の広報を各戸に配布させていただいたり、機会あるごとにコロナウイルスの偏見差別等に対しては十分ご注意をいただくように、それから三密を避けるように、あるいはマスク、手洗い等しっかり励行していただきたい、消毒剤の準備等もしていただいたり、できる限りの体制は整えているところでございます。いずれにしても市民の皆さん方のご理解、ご協力がないといけない課題でありますので、これからも機会を見ながら市民の皆さん方にもご協力を求めて、感染の防止対策に取り組んでいきたいというふうに考えております。

他に何かございますか。

横内委員 先のことが見えない、分からないという状況の中で不安がたくさんありますので、学校の先の予定をこうして示していただくことで、保護者も安心につながると思います。

とにかく情報を子ども、保護者、家庭、地域ともに共有できるということが大事かなと思

います。4月の定例会でも申し上げましたけれども、こういう困難な状況にあつてこそ、何らかのメッセージを伝えてほしい、つながっていたい気持ちというがあるので、そうした子どもや保護者の気持ちに心を寄せる教育委員会であつてほしいなと思います。

地域とともにつくる学校というふうになつていっているので、情報発信の意味でも学校のホームページはこれからも重要になってくると思いますし、効果的な学校のホームページの活用をお願いしたいと思います。

以上です。

市長 ありがとうございます。

いずれにいたしましても、正確な情報の伝達といいますか情報提供、それから今国のほうでも進めておりますが、小中学生全てに情報機器を完備させるというようなことで、市も一生懸命取り組んでいるところでございます。いずれにしても、パソコンを1台ずつということでありまして電子黒板も入りましたが、これらの有効活用についてやはりしっかり技術的な面も学んでいただいて、これからの新しい時代に備えてほしいというお願いはさせていただきました。

今年度中に国のほうは、施設整備をすれば全額財政援助をするというような話ですが、なかなか全国的に今年度中無理なんじゃないかということで、来年度に事業を持ち越してもいいような話が出てきておりますので、いずれにしても安曇野市としては4年、5年、6年、高学年の皆さんを優先に整備をさせていただき計画でございまして、いずれにしても、全生徒全校にパソコンが行き渡るような体制づくりをしたいと思つてございまして、それから電子黒板についても小学校も導入をさせていただき、また暑さ対策に対するエアコンの設置等も本年は中学生ということで今取り組んでいるところでございまして、学校の教育環境の整備に向けては、議会の皆さんの理解をいただきながら、鋭意取り組んでいるところでございまして、またよろしくをお願いしたいと思います。

他にございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

市長 それでは、本日はそれぞれ委員の皆さん方からいただきましたご意見、今後の会議でしっかり取り組むべきことは取り組んでいきたいということでありまして、また校長会や教職員の皆さん方のご理解とご協力を賜るような努力を教育委員会のほうとしてもさせていただきたいというふうに思つておりますので、いずれにいたしましてもこれからの学校再開に向けての方針を決定をいただきました。

本日の議事につきましては、以上ということになりますが、その他の教育施設全般を通じて、それぞれの皆さん方からご意見ございましたらお出しをいただければというふうに思います。

よろしいですか。

(発言する者なし)

市長 それでは以上をもちまして、本日の総合教育会議、協議事項につきましては終了をさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◎閉 会

教育部長 それでは、本日の会議事項が全て終了いたしました。これをもちまして、閉会いたします。

大変ありがとうございました。